

# INDEX

はじめに・・・	1
第1章 製品事故未然防止・再発防止の実現	2
1-1 産業構造の変革	3
1-2 超スマート社会 Society5.0	4
1-3 製品安全のスマート化にむけた動向	7
第2章 デザインと PL	13
2-1 デザインとは何か	13
2-2 PLとデザインの関係	14
2-3 過去の PL 訴訟、リコールなどの考察	15
第3章 製品安全対策について	16
3-1 製品安全～品質保証～PL対策	16
3-2 取扱説明書～本体表示～広告のリスク	17
3-3 個人情報を含むユーザートレーサビリティの問題	18
3-4 取扱説明書で消費者対応力(UD)はわかります	19
3-5 国も間違えています！	21
第4章 PL 対策	24
4-1 製品起因事故発生に備えた消費者対応	25
4-2 本質安全設計について	27
4-3 品質について	30
4-4 製品事故とPL事故の相違	33
4-5 社内体制の整備	34
4-6 現状のPL対策の見直し	37
4-7 製造者・販売者と使用者・購入者との関係	37
4-8 PL事故予防対策 Product Liability Prebention (PLP)	39
4-8-1 PLP (製品欠陥事故予防策) における確認事項	40
4-8-2 結果の評価	40
4-9 製品欠陥事故発生後対策 Product Liability Defense (PLD)	41
4-9-1 初期対応の指標	41
4-9-2 平時に取り組む重要性	43

4-9-3	事故発生時の対応	43
4-9-4	事故データベースの影響と事故発生から収束までの取り組み	44
第5章	製品リコール（自主回収）対策	45
5-1	製品リコール（自主回収も含む）の目的と発生要因	46
5-2	リコールの対応	46
5-3	実態	47
5-4	事故発生後対応でリコールに至るまでの流れ	48
5-5	課題の整理と対応方法	50
5-6	サイトでの企業評価	50
5-7	ベンチャー、新規参入事業者に向けた取り組みの強化	50
5-8	リコール対応（対策）について	51
5-9	製品リコールと自主回収について	52
5-10	自主回収とリコールの相違	53
5-11	製品リコール（自主回収）のプロセス	56
5-12	各プロセスの重要事項	57
5-13	以上のプロセスを達成するためのポイント	59
5-14	製品安全のスマート化の事例	61
5-14-1	製品安全のスマート化の実施例	65
5-14-2	データキャリアを知ろう	68
第6章	製品安全社会を醸成するには・・・	69
6-1	今一度、「製品安全のスマート化」について考えましょう。	69
6-2	4つの大きな取り組み	70
6-3	製造・輸入事業者にできること	70
6-4	流通小売事業者に出来ること	70
第7章	補足資料	71
7-1	広告上の事件事例	71
7-2	広告と表示について	72
7-2-1	イメージ広告	72
7-2-2	広告表示	72
7-2-3	不当表示例	72

第8章 製品リスクの見積もり-----	74
8-1 100Vを利用した電気製品-----	74
8-2 表示がわかりにくい製品について-----	74
8-3 ACアダプターを使う製品-----	75
8-4 家具など-----	76
8-5 ヘルスケア関連-----	77
8-5-1 化粧品とは何か、薬用化粧品とはなにか-----	78
8-5-2 食品と機能性食品、医薬品の峻別は・・・-----	78
8-5-3 医薬品該当確認フローチャート-----	79
8-5-4 薬事法関連表示の現状と解決策について-----	80
8-5-5 本来、医薬の専門家による説明が必要な薬事関連製品-----	81
8-5-6 薬事法関連商品の表示に関わる法律-----	82
8-5-7 いわゆる健康食品について-----	84
9 関連法-----	86
9-1 消費者基本法-----	86
9-2 消費者安全法-----	86
9-3 製造物責任（PL）法-----	86
9-4 長期使用製品安全点検・表示制度-----	87
経済産業省が公表している製品安全に関するガイドなど-----	88
引用、参考文献など-----	89
筆者プロフィール-----	89